

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【公開番号】特開 2020-3366 (P2020-3366A)

【公開日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-001

【出願番号】特願 2018-123532 (P2018-123532)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/90 (2006.01)

G 0 1 N 21/3581 (2014.01)

【F I】

G 0 1 N 21/90 D

G 0 1 N 21/3581

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 26 日 (2020.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟であり、外面の少なくとも一部が不透明な包装材の内部の異物を検査する異物検査装置であって、

不透明な前記外面を平坦化する平坦化機構と、

二次元走査しつつ平坦化された前記外面にテラヘルツ光を照射するテラヘルツ光照射部と、

前記テラヘルツ光が反射された戻り光を受光するテラヘルツ光受光部と、

を備える、

異物検査装置。

【請求項 2】

前記平坦化機構は、前記包装材を牽引して張力を付与する張力付与部である、

請求項 1 に記載の異物検査装置。

【請求項 3】

中央部に空間を有するステージをさらに備え、

前記張力付与部が、前記ステージに取り付けられている、

請求項 2 に記載の異物検査装置。

【請求項 4】

前記包装材に反射した可視光を受光する可視光受光部をさらに備える、

請求項 1 に記載の異物検査装置。

【請求項 5】

柔軟であり、外面の少なくとも一部が不透明な包装材の内部の異物を検査する異物検査方法であって、

不透明な前記外面を平坦化する平坦化工程と、

二次元走査しつつ平坦化された前記外面にテラヘルツ光を照射するテラヘルツ光照射工程と、

前記テラヘルツ光が反射された戻り光を受光するテラヘルツ光受光工程と、

を備える、

異物検査方法。

【請求項 6】

前記平坦化工程は、前記包装材を牽引して張力を付与する張力付与工程である、
請求項 5 に記載の異物検査方法。

【請求項 7】

前記包装材は、透明で柔軟な第一部材と、不透明かつ柔軟で滅菌ガスを透過可能な第二部材とで形成されている、請求項 5 に記載の異物検査方法。